

参画プラネット主催
協働推進ワークショップ

協働を進める上での 情報公開の重要性について

2008年12月13日（土）名古屋
於：つながれっとNAGOYA

日本財団 CANPAN運営事務局
ポータルプロジェクト担当
荻上 健太郎

<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>

目次

1. 日本財団とは？
2. CANPANのご紹介
3. 協働を進める上での情報公開の重要性
4. 協働のプロセスを発信することの重要性
5. 適切な情報開示を行うこと的重要性
6. 情報インフラを共有することの重要性

1. 日本財団とは？

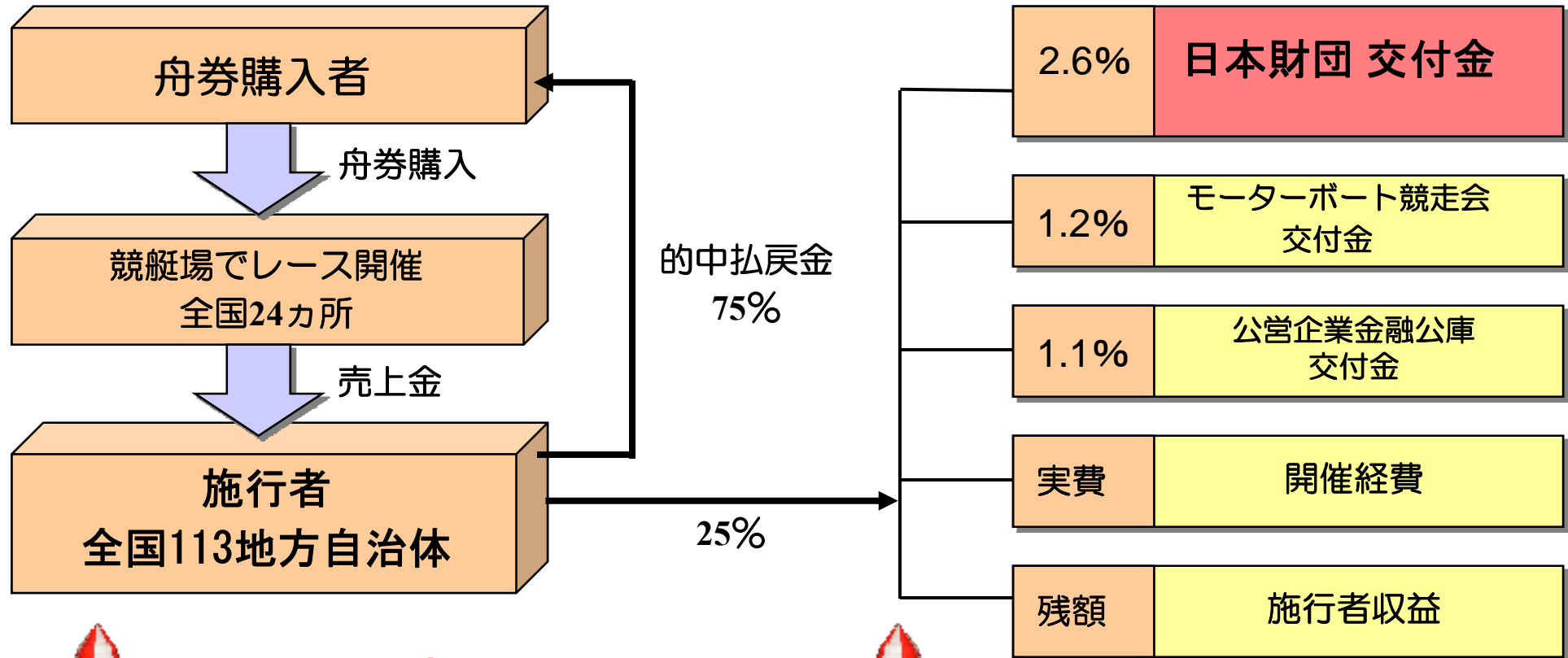
1. 日本財団とは？

- ・1962年設立の民間の助成財団
- ・正式名称は、（財）日本船舶振興会
- ・競艇の売上金（2.6%）をもとに活動
- ・国（官）ではできないことや、施策が行き届かない問題の解決のために、「公の心」をもちながら「民の視点」で取組んでいます。

1. 日本財団とは？

「モーターボート競走法」(1951年制定) により規定

競艇の売上金の流れ



1. 日本財団とは？

競艇場：24ヶ所

場外売り場：33ヶ所



1. 日本財団とは？



日本財団（にっぽんざいだん）は、競艇の売上の2.6%をうけて、全世界のハンセン病の制圧プロジェクトやマラッカ海峡の航行の安全といった大型プロジェクトから、災害におけるボランティア活動にいたるまで、様々な「社会のお役に立ちたい」という事業を支援している助成団体です。



日本財団の事業 ～ 3つの柱 ～

1. 海や船に関する支援
2. 文化、教育、社会福祉等に関する支援
3. 海外の協力援助活動への支援



【2007年度実績：3,475事業 約252億円】



1. 自己紹介

荻上 健太郎（おぎうえ けんたろう）

■1973年米国ミシガン州生まれ（35歳）

→でも「2歳で帰国」し英語は苦手

■大学時代はテニス三昧の日々

→学費は「テニスコート代に消える」

■1998年日本財団に入会

ボランティア活動支援、国際協力プロジェクト担当を経て、現在は、システム統括グループ情報コミュニケーションチーム

→「辞令コレクター」の異名をとる

■助成金講座、情報開示・発信講座、ブログ活用講座など、様々なテーマによる講座を全国各地を飛び回って実施中。

→「全国のうまい酒と肴を満喫してる」と疑われる

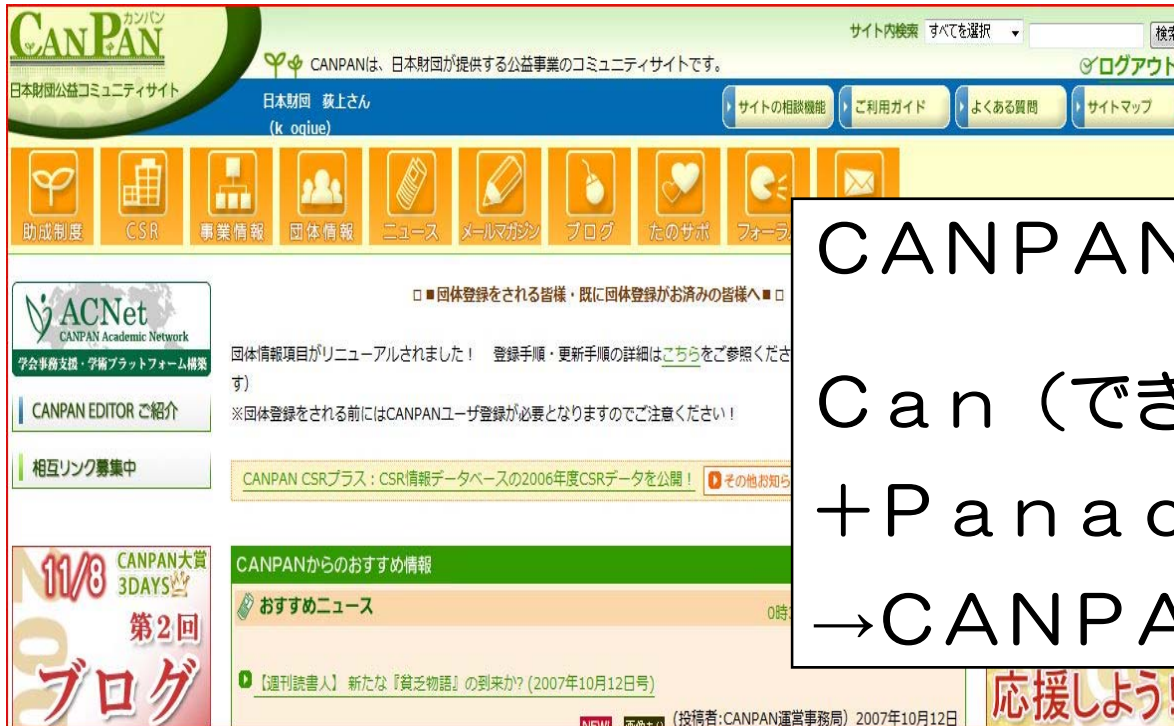
■詳しくは、私のブログ「晴耕雨読」をご覧ください！

(<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>)

2. CANPANのご紹介

2. CANPANとは？

公益に関わるすべての人にご利用いただける
ウェブサイトです。



CANPAN (カンパン) の由来は？
Can (できる)
+ Panacea (万能薬)
→ CANPAN (なんでもできる)

<http://canpan.info/>

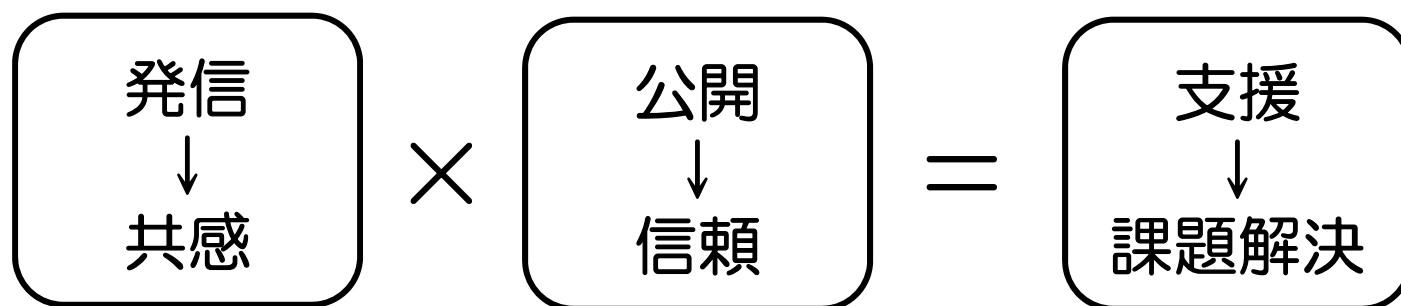
2. CANPANのミッション

■CANPANのミッション

「共感×信頼＝支援」というコンセプトに基づく社会情報インフラを提供し、公益活動を支援することで、民が民を支える社会を推進し、明るく元気な暮らしやすい日本を実現する。

このミッションを実現するため、「世のため人のために」という思いをもつ全ての人にご利用いただける公益コミュニティサイトがCANPANです。

■CANPANのコンセプト



2. CANPANの主な機能

- (1) 団体や個人の情報発信をサポート→CANPANブログ
- (2) 団体の情報開示をサポート→団体情報開示機能
- (3) CSRに関するコミュニケーションをサポート→CSRプラス
- (4) 地域で地域を支える仕組みをサポート→ポータル機能
- (5) 公益活動の知的財産共有をサポート→日本公益図書館
- (6) 公益流通をサポート→カード決済機能（2008年12月から）

様々な情報・機能を用途に合わせてご利用ください！

2. CANPANの現状

< CANPANの現状データ（2008年10月時点） >

ビジット数 : 163万人（月間）

ページビュー数 : 980万ページ（月間）

ユーザ数 : 8,279名

登録団体数 : 3,059団体

ブログ数 : 3,921ブログ

（団体ブログ : 851ブログ）

（個人ブログ : 3,070ブログ）

登録企業数 : 1,937社

3. 協働を進める上での情報公開の重要性

3. 協働を進める上での情報公開の重要性

■三つの視点から情報公開の重要性を考察

- (1) 協働のプロセスを発信することの重要性
- (2) 適切な情報開示を行うことの重要性
- (3) 情報インフラを共有することの重要性

4. 協働のプロセスを発信することの重要性

4. 協働のプロセスを発信することの重要性

■過去の公開ではなく、プロセスの発信を

- 協働とは？
 - 「共通の目標に向かって、ともに汗をかく」こと
 - だからこそ、結果以上に、「プロセス」が重要である
- 協働の事例はない！？
 - Googleで「協働 事例」で検索すると60万件！
- すでに終了した事業を整理した情報が中心
 - 過去の公開も大事だが、現在進行中の協働についても、その「プロセス」の発信に取り組もう！

4. 協働のプロセスを発信することの重要性

■ プロセスの発信にはブログを活用しよう

- 協働事業が行われている最中から発信
 - プロセスが見えるようになる
 - プロセスへの理解者、参加者、支援者を増やすことができる
 - より良い協働のプロセスが実現できる
- 事業の最中はただでさえ忙しい・・・
 - 効率的で効果的な情報発信の手段として「ブログ」が便利

4. 協働のプロセスを発信することの重要性

■CANPANブログの活用事例紹介

(1) コミュニティ2.0～地域の夢と希望が奏でるブログ～

行政も部課名を公開して情報発信中！

<http://blog.canpan.info/morikichi/>

(2) 海山にこいま

指定管理者もブログ！型にはまった報告書よりも市民や地域に開かれた情報発信！

<http://blog.canpan.info/furusatokikaku/>

(3) みなおブログ ー南大隅町教育委員会ー

教育委員会もブログ！学校や地域との信頼で顔の見える発信！

<http://blog.canpan.info/minao/>

(4) 一戸町立図書館☆あねっくす

町立図書館もブログ！小さな図書館だってとても魅力的に！

<http://blog.canpan.info/tosyokan/>

(5) 鶴ヶ島市社会福祉協議会

社会福祉協議会もブログ！活動現場が見える社協を目指そう！

http://blog.canpan.info/t_chiiki/

4. 協働のプロセスを発信することの重要性

■CANPANブログのご紹介

日本で唯一の「公益専門」のブログサービスです。
ブログはホームページにもなり、携帯からの更新もできるので、
効率的で効果的な情報発信が簡単に実現可能です。

<CANPANブログの特徴>

- (1) 無料なのに広告がない
- (2) 実名主義で信頼のあるコミュニティ
- (3) 著作権がユーザにあるので安心
- (4) ワードやPDFなどのファイルも公開できる

CANPANブログ：<http://blog.canpan.info/>

5. 適切な情報開示を行うことの重要性

5. 適切な情報開示を行うことの重要性

■NPOの情報開示の現状

- 宮城県のNPO法人の調査
→年間の事業報告書が2ページ以下の団体が約8割
- 行政職員研修
→「団体のことが分からない・・・」という声
- CANPAN CSR大賞で表彰された地域の企業
→「NPOと手を組みたくても相手がよく分からない」という声

5. 適切な情報開示を行うことの重要性

■情報開示で重要なのは「適切」であること

- Googleで「NPO」で検索すると1,460万件！
→情報は「量より質」
- 助成金の申請書
→思いは伝わるが「実態（＝知りたいこと）」が見えてこない
- 「適切」な情報開示とは？
→自分たちが言いたいことではなく、相手が知りたいことに答えること。

5. 適切な情報開示を行うことの重要性

■CANPANの団体情報開示機能

- 団体の履歴書
→個人の履歴書のように、団体の履歴書に該当する共通の情報開示基盤を提供
- 項目設計の汎用性
→ I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]が実施した、全国53助成機関の81プログラムを対象とした「申請書で何が聞かれているのか？」調査の結果を参考に項目設計
→情報の必要性和汎用性が高い

5. 適切な情報開示を行うことの重要性

■CANPANの団体情報開示機能

- ・ 情報開示レベルの視覚化
 - 情報開示の取り組みレベルを★印5段階で視覚化
 - 情報開示に積極的に取り組んでいる団体が一目で分かる
- ・ 第三者認証による信用保証
 - ポータル機能（後述）と連動
 - 「第三者認証による信用保証」で信用力がさらに高まる
- ・ 今後の展開
 - 助成金申請と連動（現在は日本財団で利用）
 - 決済機能との連動（★5つの団体に提供）

6. 情報インフラを共有することの重要性

6. 情報インフラを共有することの重要性

■公益ポータルのご紹介

みんなポータル：http://minmin.canpan.info/
運営：せんだい・みやぎNPOセンター



「サポート資源提供システム」と「NPO情報ライブラリー」

6. 情報インフラを共有することの重要性

■ 公益ポータルとは？

- 地域で地域を支える取り組み
→ 「人、もの、金、情報」などの経営資源を地域で流通
- 流通の基盤は情報
→ 流通には情報が必ずついて回る
- 情報が集まる場（＝ポータル（情報の港））
→ 情報が集まる場、一元的にみられる場があると加速する
- 場を構築するシステム（＝公益ポータル）
→ 場を構築するシステムをCANPANが提供

6. 情報インフラを共有することの重要性

■情報インフラの注意点

- 枠組みを狭くすると閉じた世界を構築してしまう
- 一度構築すると運用のコスト（費用と人材）がかかる
- 利用されないインフラはむしろお荷物

■情報インフラを共有するメリット

- 共有することで世界がつながりあう
- 個別の投資よりもコスト（費用と人材）が安くすむ
- 相乗効果でより高い効果がうまれる

6. 情報インフラを共有することの重要性

■ 公益ポータルの特長（NPOにとって）

- ・ 中間支援の第三者認証による信用保証
- ・ 効率的で効果的な情報開示のサポートを得られる
- ・ 単独での発信よりも情報発信力が高まり、得られる効果も大
- ・ 地域を支える仕組みの好循環の輪に入れる
- ・ ブログ、CSRプラス、決済機能等の各種機能との連携効果
- ・ 運営者が日本財団である信頼性と安心感

6. 情報インフラを共有することの重要性

■ 公益ポータルのメリット（行政にとって）

- ・ 信頼できるNPOの選別が容易かつ第三者認証による安心感
- ・ 協働事業の過程や成果等の情報発信がより効率的、効果的に
- ・ インフラへの投資、維持コストの削減
- ・ 共通インフラの利用による他地域との連携効果や集客効果
- ・ ブログ、CSRプラス、決済機能等の各種機能との連携効果
- ・ 運営者が日本財団である信頼性と安心感

6. 情報インフラを共有することの重要性

■公益ポータルの今後の展開

- ・ 地域・テーマ公益ポータルプロジェクト
→全国から18の中間支援組織が集まり、どのような公益ポータルが必要なのか？推進するには？を検討
- ・ 2008年度中に構築予定
 - (1) とちぎコミュニティファンド（栃木県）
 - (2) ちばNPOクラブ（千葉県）
 - (3) きょうとNPOセンター（京都府）
- ・ 2009年度以降
→各地での公益ポータル構築に向けて推進

終わりに

地域のこれからを支えるためには、個人や団体、企業、学校、行政など全ての人が、地域の構成員として、それぞれの立場からそれぞれの役割を果たすことが必要です。

多くの構成員が関わるからこそ、お互いの信頼関係の基盤となる情報開示や、相手を尊重した伝わるコミュニケーションが欠かせません。

より良い協働の推進のためにも、最適な情報インフラを活用し、積極的な情報開示や発信に取り組みましょう!

本日はありがとうございました！

荻上 健太郎（おぎうえ けんたろう）
日本財団システム統括グループ情報コミュニケーションチーム

<連絡先>

電 話：03-6229-5305

E-mail：k_ogiue@canpan.info

ブログ：<http://blog.canpan.info/kaizokudan/>